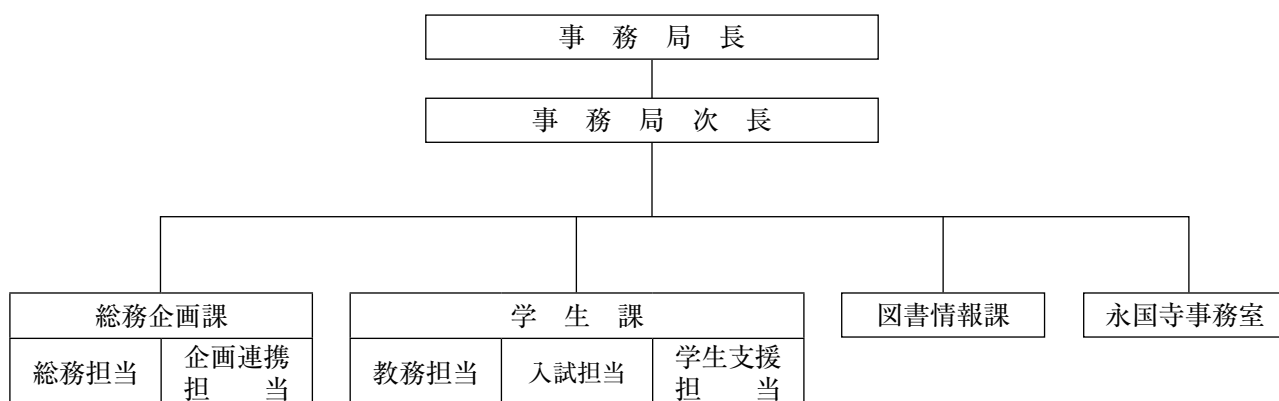
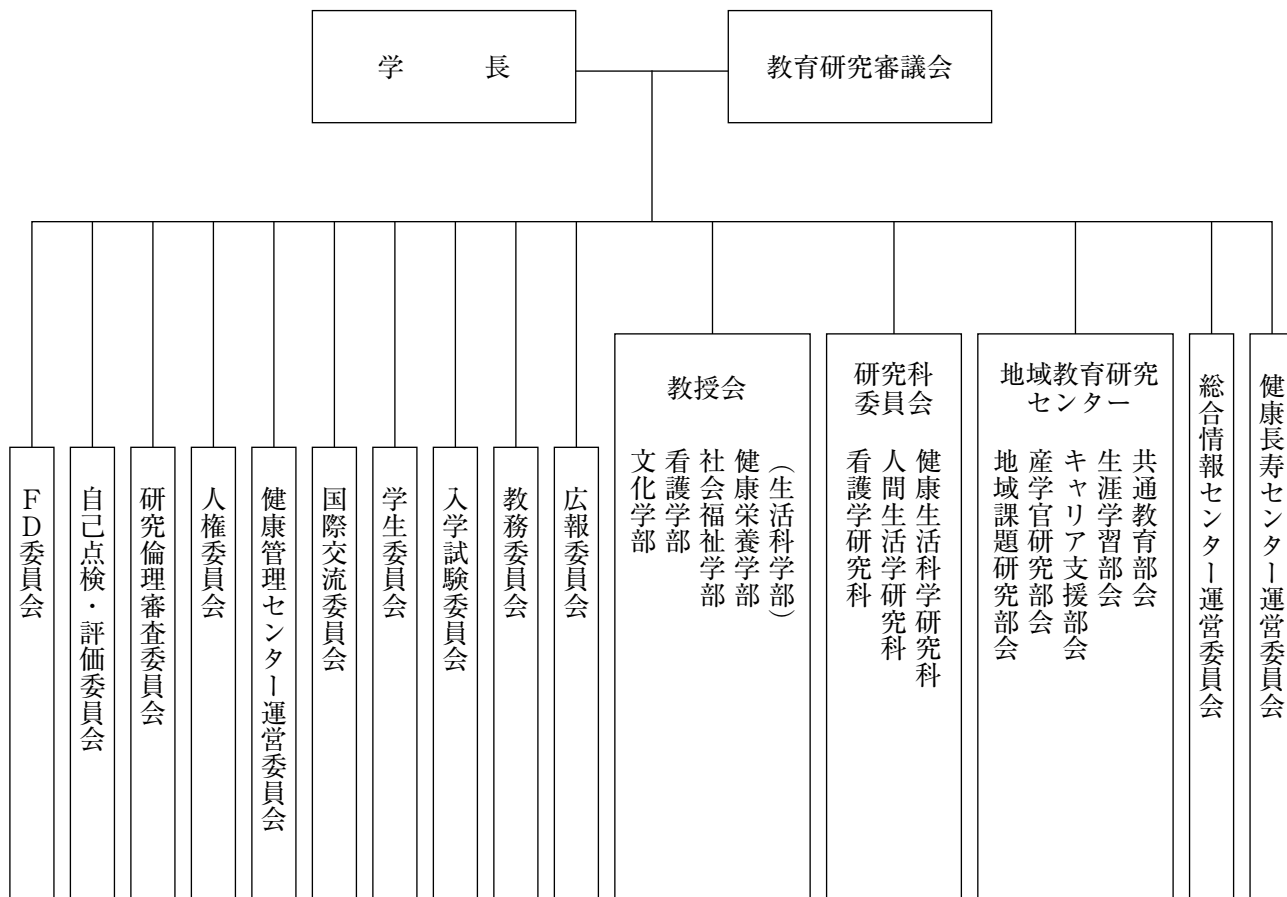


### 3 組織及び教職員

#### 1 組織（平成23年度）

##### (1) 組織図



## (2) 教職員構成

(平成23年4月1日現在)

区分	教 員								事務局職員				合計
	学 長	副 学 長	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	計	局 長	事 務 職 員	そ の 他	計	
現 員	1	2	47	22	15	28	4	118	1	25	2	28	146
内 訳	学 長	1							1				
	生活科学部		6	4	0	1	1	12					
	(生活デザイン学科)		2	3	0	0	0	5					
	(環境理学科)		4	1	0	1	1	7					
	文化学部		10	6	4	0	0	20					
	看護学部		15	7	2	20	0	44					
	社会福祉学部		9	4	5	5	0	23					
	健康栄養学部		7	1	4	2	3	17					

## (3) 平成23年度新規採用教員数

	学 長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計	
学長	1							1
生活科学部		0	0	0	0	0	0	
(生活デザイン学科)		0	0	0	0	0	0	
(環境理学科)		0	0	0	0	0	0	
文化学部		0	1	1	0	0	2	
看護学部		1	1	0	7	0	9	
社会福祉学部		1	0	2	5	0	8	
健康栄養学部		0	0	0	1	0	1	
合 計	1	2	2	3	13	0	21	

## 2 教 員 (平成23年度末)

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
学 長	南 裕子	1942	カリフォルニア大学サンフランシスコ校 看護学部博士課程修了	看護学博士		

## 【学 部】

生活科学部生活デザイン学科

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	井本 正人	1949	京都大学大学院経済学研究 科博士課程単位取得退学	経済学修士 (京都大学)	生活経営学,生活経済学	・公共交通 ・生活者サイドからの地域づくり論 ・平等の経済学的研究
教 授	宇野 浩三	1952	北海道大学大学院工学研究 科博士後期課程単位取得退 学	工学博士 (北海道大学)	住居学,居住地計画論	・水切り瓦・土佐漆喰と左官職・住まい・まち・環境教育と協働教育・住宅・ 住様式の地域性・住宅・住環境におけるユニバーサルデザイン・住民 主体のまちづくりとまちづくり学習
教 授	松本 由香	1959	奈良女子大学大学院人間文 化研究科博士後期課程修了	博士(学術) (奈良女子大学)	衣生活学,ユニバーサルデザ イン基礎論	・東南アジアおよび日本の現代ファッションと伝統染織文化、ユニバーサ ルフッションに関する研究
准教授	團野 哲也	1956	東京工業大学大学院理工学 研究科博士課程修了	工学博士 (東京工業大学)	被服材料学,生活材料物理 化学	・材料の分光学的キャラクタリゼーション
准教授	三浦 要一	1965	大阪市立大学大学院生活科 学研究科後期博士課程修了	博士(学術) (大阪市立大学)	住生活学,住文化史	・伝統的集落・町並みの保存と生活空間計画 ・歴史的建造物の復元に関する調査研究 ・大阪の都市空間に関する住居史的・都市史的研究
准教授	川口 順子	1948	九州芸術工科大学大学院芸 術工学研究科芸術工学専攻 博士課程修了	博士(芸術工学) (九州大学)	アパレルデザイン学	・高齢者の色彩弁別能力に関する研究・虹彩色の違いが色の見えに 及ぼす影響について・高齢者のための色彩計画・色彩のユニバーサ ルデザインに関する研究・植物の天然色素の染色性に関する研究

## ○生活科学部環境理学科

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	一色 健司	1958	京都大学大学院理学研究科 博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	環境物質学概論,環境化学	・環境水中の微量元素を指標とした環境動態の解明 ・微量元素の超高感度分析法・存在状態の解析法の開発
教 授	大久保茂男	1946	京都大学大学院理学研究科 博士課程修了	理学博士(京都大学)	プログラミング通論,計算機科 学概論	・ハドロン多体系のクラスター構造と反応の理論的研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	荻沼 一男	1950	広島大学大学院理学研究科博士課程退学	理学博士(広島大学)	環境生物学,生命史	・解析・土壌等の生育環境異質性に起因した植物の種内分化機構の解析
教授	谷本 真二	1950	大阪大学基礎工学部研究科博士課程退学	工学博士(大阪大学)	数理統計学,線型代数学	・ネットワーク上の感染の広がり、非線形なシステムの解析と最適化
教授	大村 誠	1958	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	博士(理学) (京都大学)	地球変動学,地学基礎実験	・人工衛星 / 航空機搭載合成開口レーダー (SAR) の応用 ・地殻変動の観測的研究・地形情報の工学的応用
准教授	風間 裕	1959	北海道大学大学院理学研究科博士課程修了	理学博士 (北海道大学)	物理学通論,量子物理学	・コンピュータを用いた物理学の教材開発 ・軽い核の構造解析
助教	名和 真一	1963	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	プログラミング実習,データ処理実習	・核力と量子色力学 (QCD)、計算機物理
助手	堀内 和美	1947	高知女子大学家政学部生活理学科卒業		化学基礎実験,生物学基礎実験	・高知県宿毛市沖ノ島の植物 ・アザミ属およびヒヨドリバナ属の分類学的研究

## ○健康栄養学部健康栄養学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	植田 哲雄	1947	徳島大学医学部栄養学科卒業	学士(栄養学) (徳島大学)	臨床栄養学、臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習	・生活習慣病に対する食事療法について
教授	川村 美笑子	1949	東北大学大学院農学研究科博士後期課程中途退学	農学博士(東北大学)	基礎栄養学、応用栄養学	・食環境と脳機能・微量栄養素と栄養修飾・食物摂取・栄養適応と生活習慣病
教授	佐藤 厚	1948	徳島大学大学院栄養学研究科博士課程修了	保健学博士 (徳島大学)	生化学、健康栄養学	・光刺激による植物蛋白質合成能に与える影響・ヒト唾液を用いた糖尿病早期発見のための指標開発 ・生活習慣病の発症予防のための行動変容に関する研究
教授	逸見 幾代	1948	愛媛大学大学院連合農学研究科博士課程修了	博士(農学) (愛媛大学)	栄養教育論、栄養教育論実習、学校栄養指導論、学校栄養教育実習、ライフステージ栄養学、応用栄養学実習	・地球環境要因、食品の栄養成分変動、各ライフステージの健康に及ぼす影響に関する研究 ・地域の生活習慣病要因の探索と予防に関する栄養教育・行動変容への展開に関する研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	村上 尚	1960	熊本大学大学院医学研究科 中途退学	博士(医学) (徳島大学)	人体の構造と機能、疾病論、 生体科学実験・実習	・生活習慣病の細胞生物学的解析
教授	渡邊 浩幸	1960	岩手大学大学院連合農学研究科 修了	博士(農学) (岩手大学大学院)	食品学、食品機能学	・エネルギー代謝調節機能を有する食品の意義・栄養機能探索・生体内メイラード反応
教授	和田 安彦	1960	秋田大学大学院医学研究科 修了	博士(医学) (秋田大学)	臨床検査医科学、健康栄養学 基礎、医療統計学、健康情報論実習、公衆衛生学	・放射性物質による食品汚染 ・高知県における食品衛生管理 ・噛みごたえのある食品の活用 ・Wolfram 症候群の実態調査 ・コホートを用いた循環器疾患 ・生活習慣病の疫学 ・摂食障害の疫学 ・エネルギー制限による老化制御 ・患者背景情報の活用と長期保管 ・職業性ストレスと過労死 ・災害時における水の確保
准教授	荒牧 礼子	1958	高知女子大学大学院 人間生活科 研究科 修士課程修了	修士(生活学)(高知女子 大学大学院)	公衆栄養学、公衆栄養学実習、 地域公衆栄養学臨地実習	・栄養表示に関する研究 ・料理書籍の出版数の推移からみた食生活スタイルに関する研究 ・勤労者世帯の生活習慣と指導効果に関する研究
講師	島田 郁子	1964	高知女子大学大学院人間生活科 研究科修了	修士(学術)(高知女子 大学大学院)	給食経営管理	・イスラム教徒の断食による生活リズムの変化とその修復 ・クックチルシステムの有効性に関する研究 ・高齢者の給食喫食率向上の試み肉軟化剤等による検討
講師	西岡 道子	1969	高知大学大学院農学研究科 修士課程修了	修士(農学) (高知大学)	調理科学、調理学実習	・各種加熱調理における魚肉の調理変化について ・真空調理における魚肉のビタミン B12 含量
講師	三木 章江	1969	四国女子大学家政学部管理栄養士養成課程 卒業		公衆栄養学、地域保健臨地 実習	・生活習慣病に関する研究 ・栄養情報に関する研究
講師	廣内 智子	1977	高知県立大学大学院人間生活学 研究科修了	修士(学術)(高知県立 大学大学院)	臨床栄養学、臨床栄養学実習、 臨床栄養学臨地実習	・アレルギー物質を含む食品に関する表示について ・災害時における災害時要援護者の栄養管理について
助授	田中 守	1982	川崎医療福祉大学大学院医療技術学 研究科健康科学専攻博士後期課程 終了	博士(健康科学) (川崎医療福祉大学 大学院)	生化学実験、基礎栄養学実 験	・食物アレルギーにおける消化吸収メカニズムの解明 ・食品由来ペプチドのアレルギー発症抑制効果

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	古川 弘子	1980	徳島大学大学院栄養生命科学教育部人間栄養学専攻博士前期課程修了	修士(栄養学) (徳島大学)	臨床栄養学実習、食品衛生学実験、健康栄養学概論、臨床栄養学臨地実習	・小児肥満改善への介入効果の検証 ・入院患者における電解質異常調査
助手	川村 真美	1955	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		食品学実験、食品衛生学実験	・食品の機能性評価について
助手	彼末 富貴	1960	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		調理学実習、解剖生理学実験	・土佐の伝統食
助手	沼田 聡	1984	徳島文理大学大学院人間生活学研究科食物学専攻博士前期課程修了	修士(食物学) (徳島文理大学)	給食経営管理実習、給食経営管理臨地実習	・自己抗体の高感度測定法の開発

## ○文化学部文化学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	青木 晴男	1949	早稲田大学大学院文学研究科博士課程3年次退学	文学修士 (早稲田大学)	現代イギリス文学演習	環境文学の観点から、D.H. ロレンスの作品を自然と人間のかかわり方に焦点を当て、ロマン主義作家のそれと比較しつつその独自性を明らかにする。同時に、ポストコロニアリズムの視点からも同作家の特質を吟味する。
教授	芋生 裕信	1953	関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	文学修士 (関西学院大学)	日本近現代文学演習	小川国夫の研究、志賀直哉の研究
教授	佐藤 恵里	1948	早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了	博士(文学) (早稲田大学)	日本近世文学演習	近世文学・演劇に見る表現技法としての「やつし」、俄を中心とした芸能文化論
教授	鈴木 哲也	1955	東北大学大学院文学研究科	文学修士 (東北大学)	英米文化史	チャーサーの『カンタベリー物語』、中世ヨーロッパのキリスト教文化、大学生向けのキャリア教育
教授	清原 泰治	1961	筑波大学大学院体育研究科修士課程修了	体育学修士 (筑波大学)	地域文化論演習	戦後復興期における高知県のスポーツに関する歴史的研究、総合型地域スポーツクラブの設立と展開
教授	東原 伸明	1959	国学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	博士(文学) (名古屋大学)	平安朝文学演習	古事記、土佐日記、源氏物語の語りと言語・テキスト分析

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	岩倉 秀樹	1960	広島大学大学院社会科学 研究科法律学専攻博士課程後 期単位取得退学	法学修士 (広島大学)	現代社会論	表現の自由、選挙法
教授	橋尾 直和	1960	東京都立大学大学院人文科学 研究科博士課程単位取得 退学	教育学修士 (鳴門教育大学)	日本語言語文化論演習	東アジアにおける地域言語(日本語諸方言・アイヌ語・琉球語)の文 化環境言語学的研究
教授	五百蔵高浩	1963	兵庫教育大学大学院連合博 士課程単位取得退学	博士(学校教育学) (兵庫教育大学)	英語言語文化演習	日本人英語学習者の第2言語音韻および語形成能力習得研究 コーパス言語学的アプローチによる英語学習語彙に関する研究
准教授	鈴木 康郎	1969	筑波大学大学院博士課程教 育学研究科	修士(教育学) 筑波大学	比較文化論演習	比較・国際教育学、東南アジアにおけるシティズンシップ教育、学校教 育の国際交流
准教授	金澤 俊吾	1973	東北大学大学院情報科学研 究科博士後期課程修了	博士(情報科学) (東北大学)	英語学	英語における形式と意味との対応関係に関する研究 英語における形容詞が関わる構文の意味的ネットワークに関する研究
准教授	高西 成介	1968	広島大学大学院文学研究科 博士課程後期単位取得満期 退学	文学修士 (広島大学)	中国文学演習	六朝志怪小説、唐代伝奇小説の解説、およびそれらの作品を通して 当時の社会・文化、および人々の心性の解明
准教授	山口 善成	1974	筑波大学大学院博士課程文 芸言語研究科	文学修士 (筑波大学)	アメリカ文学演習	19世紀半ばのアメリカにおける国家史の誕生(とりわけ国家史の誕生 と自然誌との関わりについて)
准教授	吉川 孝	1974	慶應義塾大学大学院文学研 究科哲学倫理学専攻後期博 士課程修了	博士(哲学) (慶應義塾大学)	哲学・倫理学	現象学派の倫理学、生き方の哲学、ケアの哲学
准教授	ヨース・ ジョエル	1970	ルーヴェンカトリック大学日本 学科 博士課程修了	博士(日本学)(ルーヴェ ン大学ベルギー)	日本思想史	自由民権運動、近代思想における「自由」
講師	辻上奈美江	1975	神戸大学大学院国際協力研 究科博士後期課程修了	博士(学術)(神戸大 学)	ジェンダー論	サウディアラビアにおける比較ジェンダー論、湾岸諸国における女性の 超国家的ネットワークとアイデンティティに関する研究、サウディアラビア 民主化論
講師	ウォーラー ローレン	1974	京都府立大学文学研究科、 米国コロンビア大学東アジア 研究	文学修士(京都府立大 学)、文学修士(コロン ビア大学)	日本文学	話型(天人女房説話や地名起源説話)、万葉集伝説歌、上代文学 の受容史

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講師	飯高 伸五	1974	東京都立大学大学院社会科学部博士課程単位取得退学	博士(社会人類学) (東京都立大学)	文化人類学、民俗学、観光文化論	旧南洋群島における日本統治経験に関する歴史人類学的研究、アジア・太平洋戦争の記憶に関する民族誌的研究、アジア・太平洋地域における観光と文化復興に関する研究、沖縄出身者の同郷者集団の比較研究
講師	向井真樹子	1976	ニューカッスル大学大学院 School of English & Linguistics	博士(言語学) (ニューカッスル大学)	言語学	英語、スカンディナヴィア諸言語族、日本語の複合語

## ○看護学部看護学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	畦地 博子	1964	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	精神看護学	精神科看護師のケア技術に関する研究
教授	池添 志乃	1965	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	学校保健・基礎看護学	生活の再構築に取り組む家族の介護キャリアに関する研究、子どもと家族の生きる力を支えるケアについての研究
教授	池田 光徳	1959	岡山大学大学院医学研究科博士課程修了	医学博士(岡山大学)	専門基礎医学	長期臥床者の体表負荷のアセスメント、線維芽細胞の上皮-間葉移行および間葉-上皮移行に基づいた強皮症の新規治療法、潜在的皮膚がんの検出を目的としたフィールドワーク
教授	竹崎久美子	1960	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	老人看護学	高齢者の「居がい」について、小規模デイサービスの場づくりとケア効果、高齢者の体型と歩行パターンに応じた生活行動範囲回復のためのセルフケアプログラム開発に関する研究
教授	谷脇 文子	1950	香川医科大学医学研究科修士課程看護学専攻	医学修士 (香川医科大学)	看護管理学・母性・助産看護学	効果的な看護管理の教育法の開発について長期休業看護職者の職場復帰支援の教育プログラム災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	時長 美希	1957	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	地域看護学	アウトリーチによる保健師活動に関する研究 脆弱な対象者への地域看護介入に関する研究
教授	長戸 和子	1961	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	基礎看護学・家族看護学	病者特に慢性疾患患者とその家族への看護、家族マネジメント力に関する研究
教授	中野 綾美	1958	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士課程満期退学	看護学博士 (日本赤十字看護大学)	小児看護学	研究成果を実践に根付かせるための専門看護師を活用した臨床-研究連携システムの構築、病気の子ども・家族の医療への参画に関する研究



職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	野嶋佐由美	1950	カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学部博士課程修了	看護学博士 (カリフォルニア大学)	基礎看護学	患者・家族への効果的な介入方法の開発および看護ケアにおける倫理的課題に関する研究
教授	藤田 佐和	1959	聖路加看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (聖路加看護大学)	がん看護学	在宅移行する終末期がん患者のエンパワメントを支える看護ケア指針の開発、研究 - 臨床連携システムによる看護介入の評価研究、退院後のがんサバイバーの適応を促す看護援助方法の開発
教授	宮武 陽子	1949	大阪教育大学大学院教育研究科修士課程修了 高知女子大学大学健康生活科学研究科満期退学	学術修士 (大阪教育大学)	慢性看護学	看護師の生涯教育システムの構築、慢性病者（糖尿病患者）のエンパワメントアプローチに関する研究
教授	森下 利子	1950	三重大学医学部衛生学講座衛生学専攻修了	医学博士(三重大学)	急性期看護学	がん看護領域におけるホリスティック・アプローチを基盤とするケアモデルの開発 在宅移行するがん患者のエンパワメントを支える看護ケア指針の開発
教授	森下 安子	1958	東京医科歯科大学医学系研究科博士前期課程修了	看護学修士 (東京医科歯科大学)	在宅看護学	在宅生活の継続と自立を支援するケアマネジメント技術、在宅移行を支援に関する研究、災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	松本 鈴子	1959	広島大学大学院医学系研究科博士後期保健学専攻(単位取得満期退学)	保健学博士 (広島大学)	母性看護学	出産に伴う母親の心理状態に関する研究
教授	山田 覚	1957	東海大学大学院工学研究科博士課程修了	工学博士(東海大学)	看護管理学	看護管理システムの分析と統計、看護サービスの質の向上と安定、災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	藤田 冬子	1962	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	老人看護学	高齢者の家族介護者の能力抗向上、高齢者のせん妄
准教授	大川 宣容	1967	千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	看護学修士 (千葉大学)	急性期看護学	がん患者のエンパワメントを基盤とした在宅移行支援モデルの開発、手術患者の身体感覚を基盤とした生活の拡がりを支える看護援助モデルの開発、災害看護支援ネットワークの運用に関する研究
准教授	内川 洋子		佛教大学教育学研究科生涯教育専攻修了	教育学修士 (佛教大学)	看護管理学	看護におけるリーダーシップについて（看護師長、中堅看護師、看護師のリーダーシップ）、看護におけるチームワークについて、中堅看護師に対するチームワーク教育プログラムの開発
准教授	川上 理子	1967	東京医科歯科大学医学系研究科博士前期課程修了	看護学修士 (東京医科歯科大学)	在宅看護学	高齢者の在宅療養における家族介護者の看取り、地域を基盤とした在宅移行支援システムの開発、訪問看護師の質保証のためのプログラム検討

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	田井 雅子	1965	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	精神看護学	精神障害者の地域生活に向けた援助、統合失調症患者のセルフマネジメントに関する研究
准教授	嶋岡 暢希	1969	日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科修士課程修了	看護学修士(日本赤 十字看護大学)	母性・助産看護学	乳児期の子どもをもつ親への育児支援に関する研究
准教授	益守かづき	1964	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士(高知女子 大学)	小児看護学	慢性の経過をたどる子どものヘルスプロモーション、病気をかかえた子どもの家族への看護ケアに関する研究、子どもの臓器移植に関する研究、小児看護専門看護師による臨床と地域をつなぐクリニック開設に関する研究
准教授	瓜生 浩子	1969	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	基礎看護学、家族看護学	病気や障害をもつ人とともに生きる家族の体験や家族への看護に関する研究、看護ケアのリラクゼーション効果に関する研究
講師	石川 麻衣	1974	千葉大学大学院看護学研究 科博士後期課程修了	看護学博士 (千葉大学)	地域看護学	公衆衛生看護の展開方法に関する研究 行政保健師の機能・役割および活動の特質に関する研究 災害時の保健活動に関する研究
講師	山中 福子	1963	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	慢性期看護学	慢性疼痛(非がん性)をもつ人への看護に関する研究 慢性心不全をもつ人への看護支援に関する研究
助教	池田恵美子	1962	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	看護管理学	スタッフへの看護管理教育に関する研究
助教	井上 正隆	1978	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	急性期看護学	救命救急センター看護師、フライトナースを対象にしたメディカルシミュレーターを使った教育プログラムの開発災害支援ナースの効率的な運用に関する研究、満足度を用いた業務カイゼン方法の検討
助教	大坂 京子	1980	徳島大学大学院工学研究科 情報システム工学専攻博士 後期課程修了	工学博士(徳島大学)	老人看護学	認知症高齢者のBPSDとつながり感に関する研究
助教	坂本 章子	1976	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	基礎看護学	病気と共に生きる患者と家族の知の構築に関する研究
助教	下元 理恵	1972	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士(高知女子 大学)	慢性期看護学	看護師の on-the-job training における指導者に関する研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	高谷 恭子	1975	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	小児看護学	病気とともに生きる子どもと家族が辿る軌跡に関する研究
助教	府川 晃子	1976	神戸大学大学院保健学研究科博士前期課程修了	保健学修士 (神戸大学)	慢性期看護学	ターミナルケア、がん性疼痛、がん化学療法への看護ケアに関する研究
助教	升田 茂章	1975	神戸市看護大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (神戸市看護大学)	基礎看護学	疼痛緩和への看護技術の効果に関する研究、看護ケアによって及ぼされる生体の自律神経系の変化に関する研究、家族看護に関する研究
助教	首藤ひとみ	1981	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	小児看護学	医療的ケアの必要な子どもと家族への支援に関する研究
助教	小原 弘子	1971	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	在宅看護学	地域・病院協働型在宅移行支援システムの開発 在宅移行期における訪問看護師の判断とケアのガイドラインの開発
助教	小澤 若菜	1974	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	地域看護学	生活習慣病予防、働く人の健康づくりに関する研究
助教	岩崎 順子	1970	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	母性看護学	乳児を抱える母親の Maternal Confidence についての研究
助教	坂元 綾	1966	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	基礎看護学	スタッフ育成における病棟看護師長の役割遂行を促進する教育プログラムの開発
助教	畠山 卓也	1973	東京女子医科大学大学院看護学研究科博士後期課程単位取得満期退学	看護学修士 (東京女子医科大学)	学部 対人関係論 看護セミナー 精神看護実習 総合看護実習(精神看護) 大学院 精神看護学実践演習I・II・V	精神科病院および病棟の文化に関する研究、精神科看護師の看護ケア技術(保護室ケア・行動制限・薬物療法)
助教	槇本 香	1982	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	精神看護学	精神科看護者が統合失調症をもつ人との間で用いている心理的距離のもち方を明らかにすること

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	石井 歩		高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	がん看護学	青年期・壮年期など若い世代、働き盛りの世代のがんサバイバーとそ のご家族を支援する看護ケアに関すること
助教	芝崎 恵	1979	徳島大学保健科学教育部保 健学専攻博士前期課程修了	看護学修士 (徳島大学)	母性看護学、助産看護学	若年層の性的予防行動について、全ての年齢層における性の課題
助教	福井 早苗	1972	Bournemouth University, MSC Management with Marketing	経営学修士 (Bournemouth University)	母性看護学、助産看護学	キャリア形成から見た卒後2年目看護師の継続教育
助教	辻 京子	1968	香川大学大学院医学系研究 科看護学専攻修士課程修了	看護学修士 (香川大学)	地域看護学	『児童福祉司と保健師が連携した児童虐待リスクアセスメントの活用方 法』指針の開発
助教	潮 由美子	1978	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	老人看護学	在宅移行期における訪問看護師が取り組む病棟看護師との協働

## ○ 社会福祉学部社会福祉学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	小坂田 稔	1953	岡山大学大学院自然科学研 究科博士後期課程修了	博士(学術) (岡山大学)	地域福祉の理論と方法	実践的地域包括ケアシステムの構築、中山間地における生活課題と地 域福祉実践の方法
教授	杉原 俊二	1963	香川医科大学大学院医学研 究科環境生態系専攻博士課 程	博士(医学) (香川医科大学)	児童福祉論・面接技法	ナラティブアプローチによる対人援助、自分史分析
教授	住友 雄資	1961	北海道医療大学大学院看護 福祉学研究科博士課程修了	博士(臨床福祉学) (北海道医療大学)	福祉研究法・精神保健福祉 援助技術各論	精神障害者の地域生活支援
教授	田中きよむ	1962	京都大学大学院経済学研究 科博士後期課程単位取得退 学	経済学修士 (滋賀大学)	社会保障論	人間発達理論に基づく社会保障制度の再構築、住民主体の福祉型地 域づくりの形成要因と発展プロセス、限界集落における高齢者の孤立 問題と支援モデル
教授	長澤紀美子	1963	新潟大学大学院現代社会文 化研究科博士後期課程修了	博士(学術) (新潟大学)	国際福祉論	欧米(特にイギリスを中心とした)介護政策の動向、福祉(介護)サービ スの評価・アウトカム評価、行政評価、NPM(ニュー・パブリック・マネジ メント)政策の保健医療福祉分野への適用

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	林 美朗	1958	富山医科薬科大学医学部北海道大学大学院文学研究科	博士(医学)(文学) (北海道大学)	精神医学、精神保健学、人体の構造と機能及び疾病	芸術精神医学(病跡学・芸術療法学)、仏教社会福祉学、社会精神医学、精神病理学、精神医学史学、精神科診断学
教授	前山 智	1949	大阪大学大学院工学研究科修士課程修了	博士(工学) (東北大学)	社会福祉特別演習I	情報教育
教授	丸岡 利則	1952	大阪府立大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (大阪府立大学)	相談援助の基盤と専門職	理論福祉学の確立に向けた学問的枠組みと方法
教授	宮上多加子	1958	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知女子大学)	介護過程・認知症の理解・発達と老化の理解	認知症介護実践力に関する研究、介護職の養成教育とキャリア意識
准教授	黒田しづえ	1950	大阪人間科学大学大学院人間科学研究科社会福祉修士課程修了	修士(人間科学) (大阪人間科学大学)	こころとからだのしくみ・発達と老化の理解・介護課程	ケアの在り方と実践方法
准教授	後藤由美子	1950	花園大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (花園大学)	介護の基本、生活支援技術	介護人材の教育に関する研究、ターミナルケアに関する研究
准教授	鈴木 孝典	1974	大正大学大学院人間学研究科博士後期課程福祉・臨床心理学専攻単位取得後満期退学	博士(人間学) (大正大学)	精神保健福祉論・精神保健福祉援助実習	精神障害者地域生活支援サービスにおける支援評価ツールの開発、精神障害者の居住支援に関する研究
准教授	西内 章	1972	龍谷大学大学院社会学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (龍谷大学)	事例研究法・相談援助実習指導	高齢者生活支援におけるソーシャルワークの展開方法に関する研究、エコシステム視座に基づくチームアセスメント支援ツールの研究
講師	上白木悦子	1974	九州大学大学院医学系学府環境社会医学専攻	博士(医学) (九州大学)	医療福祉論	医療・介護と代諾・代諾の可否の判断、代諾者の選定における医療ソーシャルワーカーの役割に関する基礎的研究 患者の自己決定を支える医療ソーシャルワーカーの役割に関する研究
講師	新藤こずえ	1978	北海道大学大学院教育学研究科修士課程修了	修士(教育学) (北海道大学)	障害者福祉論・NPO論	障害のある若者の自立
講師	西梅 幸治	1978	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法・相談援助実習指導	ソーシャルワークにおけるエンパワメント実践に関する研究、エコシステム視座に基づくコンピュータ支援ツールの研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講師	鳩間亜紀子	1972	日本社会事業大学大学院社会福祉学専攻科博士前期課程修了	修士(社会福祉学) (日本社会事業大学)	高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者介護をめぐる事故に関する研究
講師	福間 隆康	1970	広島大学大学院社会科学専攻科博士課程後期マネジメント専攻修了	博士(マネジメント) (広島大学)	福祉サービスの組織と経営	ヒューマン・サービスのクオリティ向上のためのマネジメントに関する研究
講師	三好 弥生	1965	立命館大学大学院社会学専攻科博士前期課程修了	修士(社会学) (立命館大学)	コミュニケーション技術・生活支援技術Ⅱ	高齢者の看取りに関する研究
助教	稲垣 佳代	1983	高知女子大学大学院人間生活学専攻科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	精神保健福祉援助技術各論	精神障害者の就労支援に関する研究
助教	加藤 由衣	1982	京都府立大学大学院福祉社会学専攻科博士前期課程修了	修士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法・相談援助実習指導	ソーシャルワーク教育の包括的な教育展開に関する研究 ソーシャルワークにおける現任教員教育方法の研究
助教	鈴木 裕介	1980	大正大学人間学専攻科社会福祉学専攻修士課程修了	修士(社会福祉学) (大正大学)	医療ソーシャルワーク論	医療ソーシャルワーカーが行う心理的援助の構造と実践プロセスに関する研究
助教	田中 眞希	1976	高知女子大学大学院人間生活学専攻科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	介護の基本・生活支援技術	介護福祉士養成教育に関する研究
助教	橋本 力	1979	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程 単位取得後退学	修士(学術) (大阪市立大学)	高齢者に対する支援と介護保険制度、虐待防止論、相談援助実習指導	ケアマネジメントにおけるインフォーマル・サポートの活用に関する研究

## 【大学院】(平成24年3月31日現在)

## ○看護学研究科&lt;修士課程&gt;

領域	職名	氏名	主たる担当科目
-	教授	森下利子	がん患者看護展開論、成人看護ケア研究、臨床看護学研究方法I・II
-	教授	野嶋佐由美	看護理論と実践、看護研究と実践、家族看護論、家族看護学研究方法
-	教授	宮武陽子	慢性看護論、慢性看護対象論、慢性看護援助論
-	教授	中野綾美	小児看護論、小児看護対象論、小児看護方法論I・II
-	教授	山田 覚	看護管理論、システム経営管理論、看護サービス管理論
-	教授	藤田佐和	がん看護論、がん看護対象論、看護倫理、がん看護学実践演習
-	教授	谷脇文子	看護管理論、看護管理展開論、看護サービス管理論
-	教授	時長美希	地域看護論、地域看護展開論I・II、地域看護学研究演習
-	教授	長戸和子	家族看護論、家族看護援助論、家族ケアの開発、家族看護学実践演習
-	教授	森下安子	在宅老人看護論、在宅看護展開論、在宅看護学実践演習
-	教授	竹崎久美子	老人看護論、老人看護展開論、在宅看護展開論、老人看護学実践演習
-	教授	畦地博子	精神看護論、精神看護対象論、精神看護方法論I・II
-	教授	池田光徳	病態生理学、フィジカルアセスメント特論
-	教授	池添志乃	看護理論と実践、家族看護学実践演習、学校保健研究
-	教授	松本鈴子	母性、助産看護ケア研究
-	教授	藤田冬子	看護コンサルテーション論、老人看護論、老人看護展開論
-	准教授	益守かづき	小児看護対象論、小児看護方法論I、小児看護学実践演習
-	准教授	大川宣容	がん看護学実践演習
-	准教授	川上理子	在宅看護展開論I、在宅看護学実践演習
-	准教授	田井雅子	精神看護学実践演習、精神看護ケア研究
-	准教授	瓜生浩子	家族と病気、家族看護学実践演習
-	准教授	内川洋子	看護管理展開論、看護管理学実践演習、臨床看護管理研究

## ○人間生活学研究科&lt;修士課程&gt;

領域	職名	氏名	主たる担当科目
共通	教授	前山 智	特別講義V(データ解析論)
共通	教授	谷本 真二	特別講義V(データ解析論)
共通	教授	井本 正人	特別講義IV(生活環境論)
共通	准教授	團野 哲也	特別講義IV(生活環境論)
生活	教授	荻沼 一男	人間生活健康情報論、環境生態論
生活	教授	佐藤 厚	人間生活健康情報論、健康栄養論I
生活	教授	川村 美笑子	人間生活論演習I、健康栄養論II
生活	教授	宇野 浩三	住環境論
生活	教授	一色 健司	環境解析論
生活	教授	大村 誠	地域防災論
生活	教授	渡邊 浩幸	人間生活論演習I、食品総合科学論
生活	准教授	三浦 要一	人間生活福祉政策論、住生活論
福祉	教授	杉原 俊二	児童福祉論
福祉	教授	住友 雄資	スーパービジョン論

領域	職名	氏名	主たる担当科目
福祉	教授	田中 きよむ	人間生活福祉政策論、福祉行財政論
福祉	教授	宮上 多加子	人間生活論演習Ⅱ、介護福祉論
福祉	准教授	長澤 紀美子	人間生活福祉政策論、国際福祉政策論
福祉	准教授	西内 章	人間生活論演習Ⅱ、ソーシャルワーク論
福祉	講師	鈴木 孝典	人間生活論演習Ⅱ、障害者福祉論
文化	教授	佐藤 恵里	地域文化論Ⅰ
文化	教授	青木 晴男	英米文化論Ⅰ
文化	教授	芋生 裕信	日本文化論Ⅱ
文化	教授	松本 茂章	特別講義Ⅲ（文化政策論）
文化	教授	東原 伸明	日本文化論Ⅰ
文化	教授	五百藏 高浩	人間生活文化論、人間生活論演習Ⅲ、英米文化論Ⅱ

## ○健康生活科学研究科&lt;博士課程&gt;

領域	職名	氏名	主たる担当科目
共通	教授	佐藤 恵里	身体表現論
看護	教授	野嶋 佐由美	看護学特別研究、看護科学と理論
看護	教授	山田 覚	看護学特別研究、看護システム経営論
看護	教授	中野 綾美	看護学特別研究、小児看護論
看護	教授	藤田 佐和	看護学特別研究、がん看護論
看護	教授	森下 利子	看護学特別研究、成人看護論
看護	教授	時長 美希	地域看護論
看護	教授	長戸 和子	家族看護論Ⅱ
看護	教授	池田 光徳	生命科学論
生活	教授	佐藤 厚	生活科学特別研究、臨床栄養論
生活	教授	川村 美笑子	生活科学特別研究、栄養生理論
生活	教授	荻沼 一男	生活科学特別研究、環境生態論
生活	教授	大村 誠	地球環境解析論
生活	教授	宇野 浩三	生活科学特別研究、居住環境論
福祉	教授	住友 雄資	社会福祉学特別研究、精神障害者福祉論
福祉	教授	宮上 多加子	介護支援論
福祉	教授	杉原 俊二	児童・家族福祉論



## 【非常勤講師】(平成23年4月1日現在)

		氏 名	専門分野(担当科目)
生 活 科 学 部	生活デザイン学科	桑 村 佐和子	生涯発達論
		井 上 忠 典	生涯発達論
		山 本 修	ハウジング論
		渡 部 嗣 道	住居材料学
		徳 弘 忠 純	住居法規
		太 田 憲 男	住居設計実習Ⅲ
	原 絢 子	家庭機械・家庭電気	
	健康栄養学科	前 田 幸 二	フードシステム学
		石 川 利 恵	学校栄養指導論Ⅱ
		大 倉 三 洋	運動生理学
		網師本 真 季	こころと身体活動
	環 境 理 学 科	原 絢 子	物理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ・応用物理学・固体物理学
		松 岡 達 臣	情報生理学・環境生物学実験
		石 川 慎 吾	生態学・環境生物学実験
		岡 田 昌 久	環境生物学実験
		種 田 耕 二	環境生物学実験
		峯 一 朗	生殖生物学
		安 田 尚 登	古環境学
關 伸 吾		環境保全学	
酒 井 敏	流体地球科学		
文 化 学 部	遠 山 仁	新聞論	
	山 岡 匡	情報処理演習	
	塩 見 由 利	比較文学	
	山 根 久之助	近代イギリス文学講読A・B	
	小 幡 尚	日本史	
	岡 崎 帛	書道	
	山 本 英 作	土佐地域文化論(スポーツ)	
	大 櫛 敦 弘	アジア思想史	
	高 橋 俊	中国文化論	
	内 田 洋 子	NPO論	
	ダニエル・リブル	比較日本学Ⅱ	
	ジェニー・ミリナー	比較日本学Ⅱ	
	ジュレマイヤ・モック	比較日本学Ⅲ	
	マーカス・オトロスキー	中級英語スピーキング	
	松 吉 明 子	日本語コミュニケーションⅡ・比較文化論講読Ⅱ	
	今 井 多衣子	日本語教授法・日本語教育実習・日本語教育法演習・日本語教育教材論	
	中 島 久 枝	比較日本学Ⅰ	
	池 純 子	日本語教育教材論	
廣 田 佳 久	考古学		

	氏 名	専門分野(担当科目)
看護学部	竹内啓晃	微生物学
	是永正敬	微生物学
	小松利広	微生物学
	清水孝洋	薬理学
	三井真一	人体のしくみI-A・I-B
	谷口睦男	人体のしくみII-A・II-B
	西原真理	心のしくみ
	明神和弘	心のしくみ
	岡林孝弘	病態と治療II
	時岡孝光	病態と治療II
	小野憲昭	病態と治療II
	福井直樹	病態と治療II
	岡部学	病態と治療II
	濱田円	病態と治療II
	田村耕三	病態と治療II
	中村敏夫	病態と治療II
	岩本博志	病態と治療I
	大崎康史	病態と治療I
	塩田直樹	病態と治療I
	西原利治	病態と治療I
	大畑雅典	病態と治療I
	菅野尚	病態と治療I
	上村由樹	病態と治療I
	土山芳徳	病態と治療I
	山本克人	病態と治療I
	菅沼成文	健康管理論
	都竹茂樹	疫学
	家保英隆	保健統計
	八木文雄	行動科学
	弘田量二	公衆衛生学
	佐藤純一	生命の科学と倫理
	松本女里	医療史
	岡谷恵子	看護と政策
	田上豊資	看護と政策
手島恵	看護学の動向と課題	
堀見忠司	医療と経営	
吉川清志	小児と疾患	
木下宏実	母性学	
海老沢桂子	助産学	
竹内悟	助産診断論	

	氏 名	専門分野(担当科目)
社会福祉学部	野 中 由 彦	就労支援サービス
	玉 里 恵美子	社会理論と社会システム
	吉 永 宣 生	社会福祉施設経営管理論
	宮 本 博 之	更正保護制度
	上 村 幸 雄	権利擁護と成年後見制度
	川 崎 育 郎	心理学理論と心理学支援
共通教育	池 田 和 夫	心の科学
	門 脇 加江子	音楽入門
	松 本 教 仁	絵画を読む(東洋)
	山 本 恭 子	日本語の表現技術
	田 村 安 興	日本近現代史
	保 坂 哲 郎	国際社会と日本
	本 間 聖 康	心とからだの科学
	川 崎 育 郎	心とからだの科学
	野 田 智 洋	健康スポーツ科学I・II
	掛 水 加 奈	健康スポーツ科学I・II
	宮 本 隆 信	健康スポーツ科学II
	前 田 正 也	中国語初級I・II・中国語中級I・II
	安 藤 麻 貴	フランス語初級I・II・フランス語中級I・II
	持 尾 伸 二	ドイツ語初級I・II
	斎 藤 昌 人	ドイツ語中級I・II
	谷 口 雅 基	英語コミュニケーションI
	松 吉 明 子	英語コミュニケーションI・III
	吉 門 牧 雄	英語コミュニケーションI
	中 島 久 枝	英語コミュニケーションI
	吉 岡 葉 子	英語コミュニケーションI
	松 原 史 典	英語コミュニケーションI
	吉 田 祐 子	英語コミュニケーションIII
	アンドリュー・ダラム	英語コミュニケーションII
	クレイグ・デイレイニー	英語コミュニケーションI・II・III
	ジェニー・カーン	英語コミュニケーションI・II・III
	ブレット・ミリナー	英語コミュニケーションI
	マイケル・シャープ	英語コミュニケーションI
	アンドリュー・ハービー	英語コミュニケーションI・II
	マーカス・オトロスキー	英語コミュニケーションII
	オーウェン・ウェイド	英語コミュニケーションI・II
	サイモン・クインラン	英語コミュニケーションI
	ショーン・バーゴイン	英語コミュニケーションI・II
マイケル・ロバートソン	英語コミュニケーションI	

	氏 名	専門分野(担当科目)
教	中 澤 勇 夫	人権教育
	伊 藤 一 統	教育社会学
	市 村 藤 一	特別活動論
	森 岡 学	生徒指導論
	岡 谷 英 明	教師論
	松 本 文 彦	教育相談論
職	原 絢 子	理科教育法I
	堅 田 美 穂	国語科教育法I・II
	小 島 郷 子	家庭科教育法I・II
	島 田 希	教育課程論・教育カリキュラム開発論
	長 崎 政 浩	英語科教育法I
学 芸 員	横 田 恵	博物館学I
	廣 田 佳 久	博物館学II
	奥 野 克 仁	博物館学III
	岡 本 桂 典	博物館実習講義
	中 村 茂 生	生涯学習概論

## ※ 臨床教授

高知医療センター

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

高知赤十字病院

高知大学医学部附属病院

近森会

高知県

カリフォルニア大学サンフランシスコ校

病院長

副院長・地域医療センター長

副院長・医療局長

総合周産期母子医療センター長

救命救急センター長

がんセンター長

循環器病センター長

看護局長

看護局次長

看護局次長

看護部長

看護部長・副院長

常任理事・看護部長

中央東福祉保健所次長

非常勤准教授

堀 見 忠 司

深 田 順 一

谷 木 利 勝

吉 川 清 志

森 本 雅 徳

森 田 莊二郎

岡 部 学

久保田 加代子

中 越 照 子

田 村 眞 知

泰 菅

宮 井 千 恵

梶 原 和 歌

山 本 雅 子

Mock Jeremiah

## ※ 客員教授

サミュエル・メリット大学看護学部

教授

近 藤 房 恵